

# つななまち

**No.185**  
**Tsunan-TOWN**  
2012年4月20日発行



## 3月定例会 2/29~3/16

町長施政方針	②、③
平成24年度一般会計・特別会計	④、⑤
議会インターネット試験中継	⑥
総括質疑	⑦
各会計の討論・23年度補正予算	⑨、⑩
一般質問	⑪~⑬
条例改正・請願・意見書・臨時議会	⑭
委員会レポート	⑮
住民・議会懇談会のご案内	⑯
シリーズ 私もひと言・編集後記	⑰



【写真】  
・津南町親善スキー大会(上)  
・雪まつり(中)  
・火焰太鼓(下)

平成24年度 町長施政方針

中津川運動公園工事  
本年度完成へ



本年も復旧・復興に万全を期したいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

国において「地方にも痛みを」とか「地方公務員の給料の削減」が声高に議論されるなど、地方財政のひっ迫化は避けられない状況の今日、地方が自ら考え、実行し、自らの力で諸課題に積極果敢に取り組みることが重要になっていくことから、政策立案能力、政策実現能力をより高めていかなければなりません。

24年度予算はこれらを踏まえ『強くてどこよりもやさしいまち、津南』を目指しつつ健全財政を堅持し、住民ニーズに的確に応える中で、より効率的な行政執行を行うことを考え編成した次第であります。

当町の一般会計の総額は、民生費及び教育費、地震災害復旧費の増により、前年度対比17%増の63億7,900万円となりました。

特別会計では、下水道会計や病院事業会計の減はありましたが、国民健康保険会計や介護保険会計、簡易水道会計の増により特別会計総額では対前年度比4.4%増の56億9,627万円となりました。

一般会計、特別会計合わせた予算総額は対前年度比2.9%増の120億7,527万円となったものであります。

財源であります。町税につきましては、法人町民税において、東京電力は東日本大震災により今後も法人税割は見込めず、現下の経済の低迷が依然続いておることから、対前年比88.3%と減収見込みであります。個人町民税につきましては、農業収入は増収が見込まれますが、給与所得、営業所得の伸びが期待できないことや、昨年の長野県北部地震の影響もあり減収で見込んでおります。

地方交付税につきましては、現時点で公表されている単位費用を基に算定し、対前年度比0.35%減の28億7,000万円を計上いたしましたところであります。

繰入金につきましては、ふるさと支援町づくり基金の繰り入れと、東日本大震災復興事業交付金事業積立分を含んだ財政調整基金の繰入増で総額2億5,735万9千円を計上させていただきました。

町債につきましては、これまでどおり有利債を主体に起債することとし、特に中津

地域に信頼され、安心して利用される病院を目指して、より一層の努力をしております。

町民の皆様方のお力添えをいただきながら、町政の運営に職員共々全力で打ち込んでまいります。

予防医療で高齢者の健康長寿をめざす



川運動公園整備事業に過疎対策事業債及び臨時財政対策債の2億5,000万円などを含め、対前年度比17.75%増の8億6,050万円を予定いたしました次第であります。

予算編成にあたり配慮いたしました施策の概要について申し上げます。保健関係では本年より「高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業」を新たに取り組みます。子育て支援策につきましては、保育園の再編などを視野に入れ子育て環境を整えていきたいと思います。

国民健康保険につきましては、運営の都道府県化が検討され、保険料が急激に上がる可能性があることから、平成30年を目標年度として激変緩和策を講じながら負担すべき保険料に近づけていくこととしております。

農林関係では、米の「津南町認証制度」を昨年からスタートし、認定割合は83%となっており、本年も継続してまいります。また「ごっつお市」において、農家レストランの設置を予定しております。

観光関係では、秋山郷の観光地としての拠点化を進め、その整備を進めてまいりたいと考えております。大地の芸術祭につきましては、第5回展が本年7月29日から9月17日までの51日間開催する予定です。その経済効果も大きな期待をしております。

災害復旧関係では、今冬の豪雪で雪消えの遅れが懸念される場所ですが、できるだけ早期の復旧に努力いたします。

小学校の統合につきましては、平成20年に出された答申を尊重し、その実現に向けて努力してまいります。

中津川運動公園造成工事については、24年度内完了に向けて最善の努力をいたします。

病院事業では、地域医療の発展と充実を図るために、近隣医療機関との連携を深め、



設、林道などの復旧工事  
事業費 3,016万円

### 農業用施設災害復旧事業



震災により大改修される総合センター

総合センター大規模改修工事  
利用者の利便性向上を図るため、耐震  
化工事と屋根・トイレ・外壁等の改修を  
行ないます。  
事業費 1億2,768万円

## 特別会計

特別会計	予算額	前年
国民健康保険	12億1,633万円	11億6,120万円
後期高齢者医療	1億1,579万円	1億1,853万円
介護保険	14億8,255万円	13億0,997万円
簡易水道	2億8,626万円	2億0,164万円
下水道事業	3億5,654万円	3億6,834万円
農業集落排水事業	2億9,032万円	2億8,806万円
病院事業	19億4,848万円	20億0,663万円
合計	56億9,627万円	54億5,435万円

56億9,627万円  
(前年比 4.4%増)

## 平成24年度予算

# 一般会計

63億7,000万円  
(前年比 1.7%増)

平成24年2月29日から3月16日までの会期で開催されました。町長の施政方針、条例改正、平成23年度補正予算、平成24年度一般会計・特別会計の当初予算を審議し原案どおり可決成立しました。

平成24年度一般会計予算は、前年度より1億900万円の増となりました。そのほとんどが国県支出金と町債、繰入金増額で自主財源の町税等は減収で見込んでいます。町予算の約45%を占める地方交付税は、1,000万円減を見込んでいます。



新入生を大歓迎 (津南小)

## 平成24年度の主な事業

### 電波遮へい対策として

町内集落のテレビ難視聴地域(4集落)を解消するために取り組みます。  
事業費 5,215万円

### 障害者介護給付支援

障害者自立支援法に対応したサービスの拡充を支援します。  
事業費 1億6,901万円

### 高齢者生活福祉センター施設の充実

利用者の階段の昇降の安全を確保するために椅子着座階段昇降機を設置します。  
事業費 1,045万円

### クアハウス津南施設改修工事

クアハウスを子どもから若年層、高齢者まで幅広い町民や町外者から利用していただけるよう、バリアフリー化とリニューアル工事を行ないます。  
事業費 5,653万円

### 「肺炎球菌ワクチン」後期高齢者予防接種事業

75歳以上の方を対象者として予防接種を実施します。  
ご理解ご協力をお願いします。

### 農産物認証制度の充実

平成23年度にスタートした、認証米の作付けを拡充します。  
事業費 2,000万円

### 観光客誘致宣伝事業

秋山郷を含めた津南町の観光宣伝のための広告に取り組みます。  
事業費 477万円

### 住宅改修補助金

住宅改修や下水道つなぎこみ整備等1件につき、上限10万円の補助が行なわれます。  
事業費 1,000万円

### 観光協会



観光案内の拠点

### すみれホーム



4月1日開設のすみれホーム

# 平成24年度予算に対する

## 総括質疑

### 子育て支援の充実を

村山道明

子育て支援について具体的な方策の考えはないか。

町長 最重要課題として、24年度は、子育て支援について今後検討委員会を設置したい。方策として、国の動向を視野に入れ委員会でも検討していく。

高年齢者単独世帯等に対して配食サービスの拡充をされたい。

町長 24年度より介護保険制度中で実施が可能となった。今後地域包括ケアシステムの中で具体的に検討していく。

### 国の医療政策で医師不足が生まれている

栗原洋子

国の示す「公立病院改革ガイドライン」に沿って津南病院縮小の方向に行くのか、地域の自治体病院として守っていくのか伺う。

町長 地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、サービスの低下を招かない中で、診療科の見直し、運営方法の改革が必要になってくると考えている。

### 小学校統廃合について

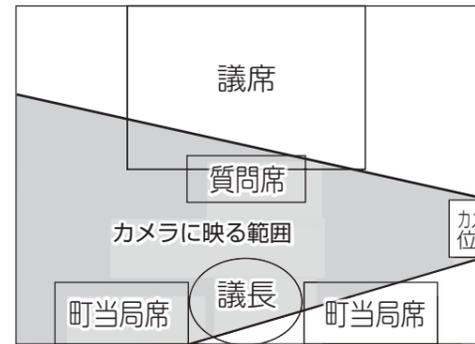
中山弘

強くてやさしい子供の育成と小学校の統廃合の関連を伺う。

## 中継環境の準備と広報

### 実施報告①

- ・1月26日の議会運営委員会にて、定例会初日と2日目の試験中継の方針を決め、2月6日の全員協議会で承認された後、機材の準備に取りかかりました。
- ・カメラの位置決めは、カメラ台数が1台であることと人員を固定配置することが不可能なことから、下図のように設定しました。さらに低コスト化を図るために無料動画配信サイト「USTREAM」を利用し、録画でも視聴可能にしました。
- ・町民へは町の広報誌（2月20日号）をはじめ、町ホームページ、広報無線、議員個人の活動により周知に努めました。



## 視聴数と反響の声

### 実施報告②

- ・3月末の集計で視聴数は実質3500を超えました。USTREAMを活用している他自治体議会と比較すると、1回の定例会でこのように多くのアクセスをいただいた例は他になく、多くの皆様からの視聴に感謝しております。
- ・各議員が伺ったご意見は概ね好評でしたが、もっとこうしたらいいのではないかと声もありました。今後の進め方について、4月25日～5月1日の住民・議会懇談会のなかでご意見をいただくとありがたいです。

### 問合せ

津南町議会事務局 025-765-5581 gikai@town.tsunan.niigata.jp

### 地域、家庭、学校、行政が一体となって取り組まなければならない。

学校は集団教育の場であり、適正な規模の人数の中で子供達が発達に応じた社会性を身に付け、お互いに切磋琢磨しながら、自らの人格形成を整える教育環境を作ることが本当の良さであると考えている。

### 施策の数値目標と行政改革について

風巻光明

予算の施策について目標と効果の数値目標が見えないが、特に町民の満足度や幸福度の尺度の指標が必要ではないか。また町税が減少する中、人件費や経費等削減対策を盛込むべきと考えるが。

町長 幸福度等の指標はあつて良いと思う。検討してみたい。平成16年に組織のスリム化を行い適正な定員管理を行っている。平成27年度までの5ヶ年で3%の人件費削減を目標としている。

### 負担金の見直しと病院の経営改善を

石田タマエ

特定の介護サービス事業者に支出している公金を見直す必要があるのではないかと。

町長 介護保険施行前の契約で平成32年度まで重大な契約違反等が無ければ見直しは難しい。

### 若年世代への予算配分について

桑原悠

平成24年度予算は、子育て世代やこれからの若い世代が「夢と誇りを持って安心して暮らしていける」ための予算編成であるとお考えか。

町長 若年世代への配分は、率直に言ってまだまだ不足していると思っている。しかし、その世代が夢と誇りを持って安心して暮らしていける方向へ着実に近づくために、町の持てる総力を挙げて編成した予算であり、その方向を強めていきたい。

### 国の財政悪化が地方に飛火する時がくる

大平謙一

地方財政のひっ迫化は避けられない中で、職員の政策立案能力、政策実現能力を高める必要がある。職員教育は。

町長 我が国の財政危機は深刻であり地方へ配分する財源不足は避けられない。現行制度の依存は捨てるべきと考える。財政の出動は今まで以上に厳しいものになる。時代の流れに対応し、問題点を認識できる職員教育をしている。

### 住民合意を尊重すべき

藤ノ木浩子

学校統廃合は、子供の教育と地域社会の存続の双方にかかわる問題である。だからこそ、子供を含め住民がよく話し合い合意を尊重することが不可欠である。中津小・外丸小から存続を願う要望書が出されているがどうか。

町長 強引に統合することはこのまじいとは考えていない。集落、地区単位に懇談会を開く。

### 介護施設はまだ不十分

滝澤茂光

保健・保養の町としては、介護施設はまだまだ不十分であると考えているが、今後の対応について伺う。

町長 津南町第5期介護保険事業計画（24年～26年）を策定中であるが、滝澤議員が上段地域（赤沢台地）に建設を、と言われている様に、私も上段地域への導入については必要性を感じている。

町長 町長は農業の6次産業化を標榜しているが、具体策は。町長 農家レストランや津南認

# GIKAI LIVE

## 2/29-3/1 議会インターネット試験中継

### 理念 「開かれた議会へ」

議会インターネット試験中継の意義は、河田議長のこの一言に集約されます。これまで、多くの町民の皆様方から、「議会は何をしているか分からない遠い存在だ」というご意見を数多くいただき、議会は自ら改革する必要性を感じておりました。

町民の多様な意見を町政に反映させ、また町が抱える問題を共有し知っていただくためには、まず議会から町民に近づいていくべきではないかと考え、第一義的に議会インターネット中継という方法を取り入れることにしました。

# 各会計の 討論

## 一般会計

**反対** 栗原 洋子 **討論**

消費税増税は、町民に大打撃を与えるが町長は「一体改革」の必要性を認めている。危惧している龍ヶ窪取水計画は町長の姿勢が問われる重大な問題となっている。災害対策で、国県への要望に消極的であり、子育て対策で保育園再編も視野に入れたこと、町民が主人公の町政を進めることを切望し反対する。

**賛成** 草津 進 **討論**

町づくりテーマのキーワードは、信頼、安心である。町民所得の向上、若年層の定住を柱として健全財政を守り続けるため、まずは農地の災害復旧を優先させ、作付け可能にすることである。過去を振り返り現状を踏まえての予算編成であり、歴史あるマウンテンパーク津南スキー場にメスが入られた。昭和40年代に、みの笠を着け、すっぽんを履いて、上野駅で、「駅から0分」をキャッチフレーズに、素人が誘客宣伝活動を行った姿を思い起こすに当り、複

雑な思いである。まずは、時代の流れに勝つこと。5年10年先を見据えた予算編成に賛成する。

**賛成** 恩田 稔 **討論**

昭和31年からの右肩上がりの時代は完全に終焉した。全てのシステム、考え方はこの経済の上で成り立っていったものである。高度成長時代に生きてきた団塊世代の私達が、まず真っ先に考えを変えなければならない。交付税に頼らない「稼ぐ力」を目指した一般会計予算として賛成する。

## 国民健康保険特別会計

**反対** 藤ノ木 浩子 **討論**

国保料一人平均7,500円の値上げに加え、国保の広域化に向け負担すべき保険料に近づけるとする方針は、住民負担増そのものだ。低所得者が多く、健康保険より保険料負担が重い国保は、国庫負担が83年68.6%が11年24%まで削減されてきた。これを元のレベルに戻すことが求められる。以上を踏まえ反対とする。

**賛成** 草津 進 **討論**

保険料は町の多額の一般会計からの繰入で黒字を確保し、10年以上にわたって低い水準のまま据え置かれ

ていた。しかし、高齢化、高度化によって医療費は伸び続けている。今後、広域化が検討される中、保険料水準が急激に上昇することを予想しての対応が成されたことの予算編成に理解を示し、賛成とする。

**賛成** 恩田 稔 **討論**

国へは行政改革を断行し、手厚い国庫補助を要求していかなければならない。一方で加入者にとっては、安い方が良いに決まっているが、誰かが負担をしなければならぬことも当然の仕組みである。医療費の伸び分くらいは自己負担増もやむを得ない。将来世代のことを考え賛成する。

## 介護保険特別会計

**反対** 藤ノ木 浩子 **討論**

特養入所定員数は141人まで拡大されたが、待機者500人をみれば施設整備は必要である。標準額5千円に値上げされた保険料と利用料は、年金生活者に耐えがたい負担である。法改正により軽度者へのサービス低下が懸念されることやヘルパーによる生活援助時間の削減は許せず反対とする。

## 病院会計

**賛成** 草津 進 **討論**

少子高齢化社会への移行と生産年齢人口が急速に減少し続ける中、暮らしやすい町、住みよい地域には「安心」「安全」が求められる。医療スタッフの確保がまず大前提であり、寝たきりや認知症をできるだけゼロに近づけ、健康寿命を延ばすことが目標とされている運営に期待するところ大であり、賛成とする。

**賛成** 村山 道明 **討論**

病院事業は憲法25条の生存権保障のため、だれでも必要な医療を提供し住民の命、健康を守る防波堤としての役割がある。保健・福祉・医療を一体とした自治体行政の中心を担うことなど、病院業務内容からも地域医療を守る取組が見受けられる。職員一体となった医療体制を維持する予算編成に賛成とする。



## 23年度 主な補正予算内容

<b>総務費</b> 電波遮へい対策事業費減額 (平成24年度へ計上) △ 5,100万円	<b>民生費</b> 要援護者世帯除雪事業委託費 2,000万円	<b>衛生費</b> クアハウス津南工事費減額 (平成24年度へ計上) △ 4,362万1千円	<b>農林水産費</b> 農業集落排水事業 特別会計繰出金 1,775万円	<b>土木費</b> 町道等除雪委託費 1,561万8千円	<b>消防費</b> 被災住宅等解体委託費 7,924万9千円	<b>教育費</b> 中津川運動公園造成工事費減額 △ 8,620万円	<b>災害復旧費</b> 農業用施設災害復旧工事費減額 △ 2億900万円
--	--	--	--	-------------------------------------	---------------------------------------	---	---

## 23年度 特別会計補正予算

<b>国民健康保険特別会計</b> 補正額 1,724万5千円 総額 12億624万4千円 (主な内容) 保険給付費の負担増	<b>介護保険特別会計</b> 補正額 2,500万円 総額 13億5,240万5千円 (主な内容) 保険給付費の負担増	<b>簡易水道特別会計</b> 補正減額 △ 281万円 総額 2億3,894万8千円 (主な内容) 維持管理費減	<b>下水道事業特別会計</b> 補正減額 △ 325万2千円 総額 4億891万5千円 (主な内容) 災害復旧事業費減	<b>農業集落排水事業特別会計</b> 補正減額 △ 186万7千円 総額 5億2,247万4千円 (主な内容) 災害復旧事業費減
--	--	---	--	---

# ふくほく園 恵福園

特養 29床 小規模多機能 9床  
平成 24年 4月 1日 開設 通所 25人



# 一般質問 過去最多の14議員

草津 進議員

## 豪雪による危険が生じる空家、対策は

町長：法的整備、財政支援を強く国に要望した

### 災害救助条例の運用基準の見直しを

**問** 「18年豪雪」に匹敵し、災害救助法が適用された津南町の豪雪対策対応は。災害救助条例の運用基準の見直しを強く国、国に要請して欲しい。また、空家対策とパトロールについて伺う。

**町長** 現在の地域環境が、制定当時の環境と大きく様変わりした。町村会を通じ、あるいは単独で、国へ見直しの要望をしている。所有者のわからない空家は20数軒ある。これらについては、各集落の総代さんを始め、皆さんからパトロールをしていただいて、実態把握につなげている。町の消防団からも水利施設の確保と併せ、危険箇所点検を実施してきた。やむを得ず市町村が空家等の除雪を行う場合、立ち入る法的根拠や除雪費用負担など、法的整備と財政支援を強く国へ要望してきた。今後もその対応に努めていく。

### 津南町衛生施設組合の今後について



「豪雪」雪上運動会で楽しむ1日

**問** 組合構成町村、津南町、旧中里村、旧松之山町、長野県栄村からなる粗大ごみ処理施設、市町村合併による今後は。

**町長** 旧中里村、旧松之山町のごみ処理は、「十日町市の施設で処理すること」でサービスを統一したい」との申し出があった。し尿処理、火葬業務は当面現状維持していく考えである。ごみ処理業務は津南町、栄村、一町一村で運営する形になる。老朽化が進んでいる中、対応・対策と十日町市から提案のH28年新設される十日町市の施設利用（津南町、栄村）の可燃ごみの焼却も合わせて様々な検討を重ね、住民サービスに努める。

津端眞一 議員

## ソーラー発電の可能性は

町長：強い関心をもっている

### 雪国でソーラー発電導入の可能性は

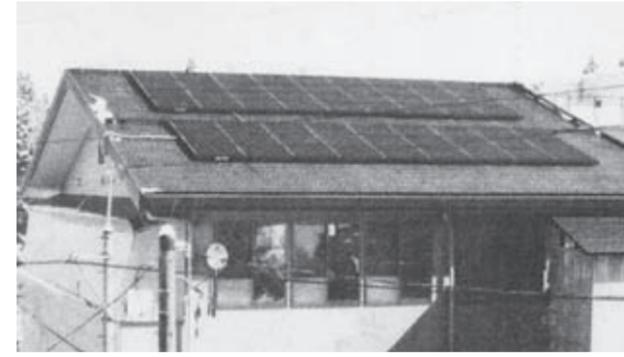
**問** 昨年の福島原発事故により全国の原因が停止する。電力不足が予想されるが、ソーラー発電について見解を伺う。

**町長** 総合センター耐震工事に伴い設置を考えたが、発電効率、コスト面を考え見送った。ソーラーパネル開発も日々進歩しており、発電効率、財政を熟慮し鋭意検討する。今現在我が町では、無理である。

### 震災、雨災の復旧工事が進まない。

**問** 消雪の遅れが心配だ。重機、融雪剤使用により、消雪促進を図り、早期工事を願う。

**町長** 国の災害復旧工事に除雪費は含まれていないが、融雪支援に対し、国県に勢力的に要望している。できるだけ単費も使いながら、作付に間に合うよう最大限努力する。万一間に合わせぬ場合に備え、受益者と綿密に話し合い、工事を進めたい。



雪国でも設置されているソーラー施設

### 保育園の環境整備が急務と考えるが

**問** 町内7ヶ所の保育園で少子化が進み、運営が困難な状況にある。統合を含め環境整備を早期に進めるべきと思うが。

**町長** 新年度早い時期に、「保育のあるべき姿検討委員会」を立ち上げ検討していきたい。

風巻光明 議員

## 大割野旭町通りの歩道取付を

町長：交通安全第一として重点に取組む

### 通学道路を安全に

**問** 国道405号旭町通りについては、交通量と通学生徒の増加により危険な状態である。地元住民の長年の念願でもある歩道取付整備工事について、早急に着手の方針をだして貰いたい。

**町長** 公共事業の縮小の中、交通安全整備施設事業として採択を目指している。町としては最重要事項として取り組む。歩道幅に伴う代替地の構想はあるのか。

**町長** 旧農政局跡地と保育園と隣接した宅地を検討している。

### お客でにぎわう津南駅に

**問** 平成22年から森宮野原駅で新潟支社と長野支社管轄に支社境界が発生し、路線サービスに若干歪が生じているが、その解決策は。

**町長** 新潟県の路線は新潟県で、との長年の要望が実現した。各路線での観光巡り等日常での運行は問題ないと考えている。

**問** 津南町として、観光面におい



歩道があれば安全だが

て幅を広げ誘客増員に努めるべきと考えるが、SL等観光列車の運行を積極的に進めて頂きたいがその取組は。

**町長** SLは路線の整備が必要で非常に難しい。環境に優しいハイブリッド・トレインの引き込みを要望しているところである。

**問** 本年除雪による運休が頻繁にあり、公共交通の役割として疑問を感じているが、交換駅を設ける等、対策はないのか。

**町長** 除雪方法は従来と同様に行なっていると考えている。事前に分かっている場合は代行バスを手配し、通学・通学に間に合わせている。交換駅等の対策については大変参考にされた。

大平謙一 議員

## 病院の経営赤字縮小策は

町長：出している赤字など一つもない

### 経営改善には長期の一貫した経営戦略が必要

**問** 地域にとって病院は必要。しかし赤字縮小の努力も大事。医師をはじめ病院スタッフが患者をお客様としてとらえ、「やさしく、親切、早く」を徹底し、一人でも多くのお客様に来院していただけるように、町長が教育すべきと考える。町長の考えを伺う。

**町長** 全国の自治体病院の平均8割以上が赤字と言われているが、出している赤字などというものは一つもない。全力で経営改善努力してゆく。接遇面で、管理者である院長先生のリーダーシップにより毎年研修を行っている。

**問** 外科手術できる病院を目指すべきと考えるが。

**町長** 外科手術はポイントが高く経営改善には有効であるが、整形外科、小児科も重要なことから、常勤医師の確保に努力してまいりたい。

### 幼児教育の重要性と保育園の改革は



保育園給食

**問** 国は保育園と幼稚園の一体化を進める方向である。幼児教育の重要性を考えると、今後保育園の改革はどうするのか。

**町長** 国は22年より、子育て支援システム検討会議を設け、検討されてきた。子育てをめぐり環境が厳しい状況であるとして、子供は社会の希望であり未来を造る力である。しかし、それに対する十分な子育て環境が整っていない現実があり、子育ては町全体で取り組むシステム造りが目下重要である。

根津勝幸 議員

# 空き家屋根の危険な雪どりの対応は

町長：所有者の善良な管理が義務

## 空き家除雪対策どうするの

問 空き家の屋根の雪が危険な状態にあり、近所の人も危険を感じる空き家住宅が多数見受けられた。町が除雪をしたところと、しないところの判断はどの様な基準でなされたのか。

町長 県内はもとより、全国の各市町村がこの空き家対応に苦慮している実態がある。

問 空き家の除雪基準は、所有者の善良な管理が義務と考えるが、子供の通学路上で危険な箇所があり、所有者が亡くなられ、相続人不明で、連絡の取りようがなかったものについて、あくまでも緊急的に除雪を行ったことはあるか。

町長 この冬になって空き家になったもの、また施設に入所されたケースなど、民生委員に届出のあったものについては、災害救助法の適用により費用の負担発生はない。



空家だと家が壊れやすい

問 今後も予想される空き家住宅の無除雪危険箇所、家屋について、空き家対策条例の考えは。

町長 空き家対策には県も一緒になって国の法的な考え方、財政のあり方を要望しているところである。空き家対策条例は全国で対応しているところはいくつかある。当町も雪だけではなく、防犯上、防火上、さまざまな意味で、行政が関与しなければならぬという現状になりつつある。条例化するかどうか判断はしていないが、ケーススタディとして十分やっていたいと考えている。

藤ノ木浩子 議員

# 原発からの撤退を国に求めよ

町長：原発の安全性を高めエネルギー開発を進めていくべきではないか。

## 原発ゼロこそ進むべき道だ

問 各種世論調査では「原発をなくすべきだ」「反対」が過半数を超え、原発ゼロという結果である。世界一の規模をもつ柏崎刈羽原発は、3月末にすべての原子炉が停止する。この原発は、中越沖地震で3、655箇所の損傷が発生し大きな被害を受けている。活断層は原発直下まで達している指摘されており、さらに30キロ圏内の自治体に80万人が生活している人口密集地域にあり、大きな危険を抱えている。津南からも原発からの撤退の政治決断を国に迫るべきではないか。

町長 国民の意識の集約は脱原発にある。日本のエネルギー供給体制は、化石燃料、原子力に大半を依存しなければならぬ。原子力発電の安全性を高めていく立場から積極的に関わっていききたい。同時に時代を担うエネルギー開発を進めていくべきと考える。

問 福島原発事故の被害からも県全体の問題として取り組むべきで、津南も東電と安全協定を結ぶ



町が購入した空間放射線測定器 今日0.07マイクロシーベルト

町長 県内30市町村で構成する原子力安全対策研究会では、柏崎市、刈羽村を除く28市町村で、東電が情報を連絡する協定を2月9日に締結した。全国初の取組と伺っている。

問 住民の健康と生活を守るために、学校給食の食材や農産物の放射能調査体制が必要ではないか。

町長 一般的な農産物検査は県が随時行い、公表しているのが安全であると認識している。給食食材へは万全な注意を払っている。町独自の検査体制を整備していく考えは現在のところない。

中山 弘 議員

# 津南町の観光の矛先は何処か

町長：海外との交流も進めているところである

## ジオパーク構想での秋山郷活用のあり方は

問 観光誘客の進め方は。

町長 ニュー・グリーンピア津南では韓国語、中国語、英語での観光パンフレットを作成し、モンゴル自治区のホテルと姉妹提携協定しており外国人の受入れに力を入れていく。

問 観光課を作り専門職を導入する考えはないか。

町長 観光課は作らないが、観光こそ六次産業と考えており観光協会での専門職推進等には支援する。

問 文化財は観光誘客に効果大であるが考えを伺う。

町長 文化的景観やジオパーク認定を注目しながら進めているところである。

## 小学校統廃合のゆくえは

教育長 地域との懇談会の中で寄り添ってゆく。

問 外丸小学校の要望者と中津小学校の請願書は生かされるのか。



「なじよもん」 竪穴式住居

教育長 平成20年に適正規模検討委員会から答申があり、答申のとおり進めていきたいが、統合を凍結、小学校存続の要望もあり重く受け止めなければならぬ。今後も懇談会や意見交換で理解を深めていきたい。

問 津南を愛する子供達を育てるには屋外活動が大事では。

教育長 自然体験活動は大切であり、「なじよもん」体験講座を活用し自然と触れ合っている。地域や保護者が一体となることが肝要である。

栗原洋子 議員

# 消費税増税が町民に与える影響は

町長：消費税増税も将来は必要

## 町民・中小企業への影響は

問 消費税が10%に増税されれば中小企業・農業にとって価格転嫁が難しい税であり、町民の暮らしへの負担増や、中小業者・町財政、病院会計に与える影響はどうか。町民の暮らしを守るため、町長は増税反対の立場を明確にしたいだろうか。

町長 社会保障と税の一体改革は必要であり、消費税増税も将来は必要。病院会計への影響はある。

## TTPP交渉参加への新たな動きに対して

問 交渉参加への動きの中で、農業ではBSE、米や乳製品、豚肉の関税撤廃などアメリカの要求の丸飲みになる危険性を示している。町も改めてTTPP参加反対の運動を強める必要があると思うがいかがか。

町長 TTPP交渉参加には断固反対であり、ぶれない姿勢が必要である。



消費税増税反対!

## 被災住宅改修補助の継続を

問 昨年罹災証明をもらい、住宅改修補助を申請したが、着工できなかつた人に対し、上限20万円の補助継続をしていただきたい。

町長 町の財政に限りがある。一般住宅改修と被災住宅改修に上限10万円で継続したい。

滝澤茂光 議員

# 津南町の浮沈にかかわる人口高齢化

町長：町にとって喫緊の課題と考えている

## 結婚相談員のあり方は？

津南町では成婚率を高めるための施策として結婚相談員（12名）を配備しているところであるが、マンネリ化しているのか実効が見えないと感じている。若者主体の取組に変え、それに助成する仕組みに変えてはどうか。

町長 結婚相談員のメンバーの差し替え等行いながら進めてまいりたい。

地域振興課長 結婚相談員に若い方からも入っていただいたところ、パーティ等では盛り上げていただき2、3組のお付き合いが始まっている。しばらくは、この方法で見守ってまいりたい。

## 多発する交通事故対策について

交通安全 交通事故による死亡事故が、十日町警察署管内が県内ワーストワンのなっているが、運転者の高齢化も大きな要因となっているかとも考えられる。また、交通指導等のマンネリ化なども考えられる



官民あげての防災意識が求められる

が、免許更新時以外の自動車運転者講習会について、受講の義務化も一つの方法かと思うがいかがか。

総務課長 交通指導員による広報活動や、各地域に設置されている安全協会の取組強化等を図っているところであるが、広報無線にしても聞き取りが難しい方、または全体で盛り上げていく意識も必要。集団で、あるいは個人的な取組等、いろいろ検討してまいりたい。

伊林康男 議員

# 竜ヶ窪の名水と農業振興について

町長：津南の知名度を高め農産物の販売促進に

## 地域経済と地域資源の有効活用は

津南町の現状をつぶさに分析し、将来展望するとき、何人も大きな危機感を抱き、不安に感じている。

この度の水プロジェクトは我が町の農業振興を通じての地域活性化対策であると思われるが如何か。

町長 竜ヶ窪の水が全国に販売されることによって、津南町及び竜ヶ窪の知名度が上がり、米・野菜等の特産品の販売がしやすくなり、観光面でも入り込み客の増加が大きく期待される。また、コンビニエンスストアでは、農産物を使用した商品が主力となりつつあり、津南町も米や野菜の契約栽培が期待でき、農産物の有利販売に結びつける可能性は高く、その努力をしてゆかねばならない。

竜ヶ窪の環境保全は、守り通していくことが大きな課題であり、先頭に立ちたいと思っている。一方では、先祖から受け継がれてきた様々な資源を駆使し、乗り越えて行く責務があると認識して



名水竜ヶ窪

いる。

津南町の経済対策として、農業所得の向上と安定した雇用の確保は急務の課題である。この度の水プロジェクトは、雇用拡大として、10名程度と決して多くはないが、経済状況からすると、安定した雇用の場ができることは大きな意義があると思っているし、これを基として将来の雇用拡大が充分見込めること、コンビニエンスストアとの連携ができれば、農地の利用を含め農産物の安定的販売で、畑作農家の所得向上が期待できるものと思う。

恩田 稔 議員

# 中山間地の豪雪対策について

町長：重要な政策課題である

## 高齢化社会の豪雪施策について

高齢化が進み、住宅の屋根除雪や玄関から道路までの除雪など、出来ない世帯が増えると思われるが。

町長 要支援世帯への支援として、冬期間町内にある既存の旅館を利用し、生活を支える制度を国県に要望していく。

津南には屋根除雪の請負業者がいてくれることで、高齢者世帯は大変助かっているが、業者の高齢化も進むと思われる。人員確保についてはどのように考えているのか。

町長 将来的には、人手不足が予想される。除雪ボランティアの受入側に何が必要なのかを、来年度から調査研究する。

今年のような豪雪になると排雪が必要になる。町内に排雪場所を確保することはできないか。

要望がどの程度あるのか、調査をしなければならぬ。初めての要望であり、安全対策等も含め、費用対効果を精査し、来冬ま



高齢化社会、今後の屋根除雪対策

では何らかの対応策を検討する。津南には空き家住宅が300軒以上あり、今年のような豪雪になると近隣に迷惑をかけているものも少なくない。個人の問題では済まされない社会の問題である。万が一落雪による事故が発生した場合、町の責任は問われないのか。建設課長 全くないとは言えないが、基本的には所有者責任であると考えている。

廃校舎の活用について、方向性は決められたのか。

町長 都市との交流で利用している実績もあり、地域での活用も一つの選択肢である。又企業からも使いたいとの打診もあり、計画書の提出をお願いしている。今後さらに検討を重ねる。

村山道明 議員

# 給食用食材の放射性物質検査依頼は

教育長：町給食は県検査へ依頼はしない

## 安心、安全な食材を調理

学校給食用食材は、県が開始する検査へ依頼すべきであるし、4月より新基準値により厳正となる。食材の安全と安心確保から当然であると思うがどうか。

教育長 町は次の点から県へ依頼はしていない。1、納入される食材には産地・生産年月日が明示されている事から、栄養士や調理員が毎日把握できる。2、県は汚染された農産物が流通しないように県内外産のサンプル検査を実施して結果を公表している。町はこの検査結果を注視している。町はこれまで検出されていないし規制値以下である情報を得ている。3、加工品は多くの食材が学校給食会を通して納入されている。納入業者に検査を課している点から給食現場へ届く事がないと判断している。4、国でも対策措置法や食品

安全法に基づき出荷制限がされている。毎日の牛乳や米は県が検査実施している。このことから町へ放射性物質に汚染された食材が入ることがないことから県への依頼を見合わせた。

保育園児用給食食材は、食品衛生法の基準や産地等を明示するよう納入業者へ指示されたい。福祉保健課長 食品衛生法の基準値が一段と厳しくなった。今後は衛生法基準に基づいて納入している。農産物産地表示されていない食材は納入しない。

春先の消雪が遅れることから県緊急消雪促進対策事業発動を要請すべきである。

町長 必要なときは、県へ強く要望したい。



給食センター調理場



桑原 悠議員

# 畑作農業の今後の方針は

町長：関係業者連携による津南野菜のアピールに取り組む

## 集落内町道の除雪のために

各集落に対し、お年寄りでも使える雪庇落とし道具を支給し、共助をサポートするのはどうか。

町長 器具の支給は修繕費や更新に伴い、継続的な予算が必要のため慎重に対応する。

## 竜ヶ窪の水に関する企業誘致について

町民との合意形成過程に問題はなかったか。当該集落への説明で十分だったか。

町長 水の権利者である岡と谷内集落への説明を優先させ、早い段階で集落役員の皆様に情報を開示してきた。岡には不可能であったが、谷内には全戸に説明資料を配布した。だがご理解をいただくに十分な説明ができず、忸怩たる思い。

## 畑作農業の生き残りには

①県特別栽培認証制度への補助②津南町農産物認証制度を野菜や果物にも適用③他自治体と連携した地域認証制度創設の3案を



雪下にんじんに喜ぶ横浜男子

挙げる。町長のお考えをお聞きしたい。

町長 津南町農産物認証制度創設の際、野菜やきのこ類も検討したが、時期尚早と見送った。現在はJAはじめ関係業者が連携し、統一シールによる津南野菜のアピールを開始した。また、津南町は新潟市と並んで畑作のシェアが大きく、他地域と広域連携の必要はない。

地域振興課長 JAを含め業者連名の栽培指針を提案したが、断られた。だが、内容的にはJAの指針で実質、統一されることになった。

# 条例改正と制定

◆津南町医学生等修学資金貸与条例の一部を改正

要旨 医師・看護師等の修学資金貸付の増額と津南病院に勤務する場合は返済を免除する条例改正が行われた。  
(全員賛成)

◆財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正  
(全員賛成)

◆津南町税条例の一部を改正  
要旨 東日本大震災の復興に際し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源確保に係る地方税の臨時特例に関する法律の公布に伴う改正。  
(賛成多数)

◆津南町国民健康保険条例の一部を改正  
要旨 町長が指定する保険料を減免する場合において、算定する額の改正。  
(賛成多数)

石田タマエ議員

# 住民に安心できる支援体制の明示を

町長：ニーズを的確に把握して進める

## 在宅支援体制の充実を図り安心した生活を

入所施設の増床は限界に近い。今後は、住民が安心できる在宅支援体制を示すべきではないか。

町長 平成24年度より入所施設が38床増え、小規模多機能居宅介護施設が1施設新設し、更に十日町市で特養が開設される。これらの動向を見ながら不足されるサービスを見極め検討していく。

いずれにしても、在宅介護のカギは公的支援がいかに隙間なく提供できるかである。

介護予防が最も重要であるが、現在実施している介護予防事業の成果をどの様に評価し、今後につなげていくのか。

町長 クアハウスを活用した「寝たきり0運動」では、参加者が増えない。特に男性の参加が少ない。その分析をし、クアハウスのバリアフリー化の改修を実施する。また、各地域で実施しているサロン事業も現在14か所で実施しているが、今後拡大の検討をしていく。要支援認定者等の要介護予備軍へ

◆津南町介護保険条例の一部を改正  
(賛成多数)

◆津南町道路占有料徴収条例の一部を改正  
要旨 町の道路・土地等を占有する電柱、上空・地下の通路、祭礼の催し、看板等の徴収料の変更(価格低下)  
(全員賛成)

◆津南町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正  
(全員賛成)

◆津南町営バス条例制定について  
要旨 地方自治法と道路運送法の規定に基づき、町営バスの設置と管理に関する条例の制定。  
(賛成多数)

# 請願 陳情 意見書

◆TPP交渉参加に向けた協議の中止を求める請願及び意見書  
(賛成多数)

# 3月29日開催 第一回臨時議会

◆津南町営住宅条例の一部を改正する条例の制定  
(全員賛成)

◆長野県北部地震による災害被害者に対する国民健康保険料の減免に関する条例の一部を改正  
(全員賛成)

◆平成23年度津南町一般会計補正予算及び5つの特別会計補正予算の質疑と議決。  
(全員賛成)



# 「住民・議会懇談会」のご案内

住民・議会懇談会を次の日程のとおり町内 20 会場で開催いたします。

住民・議会懇談会は、住民方々と協働の町づくりを実施するため、町政の情報や議会活動の状況を地域に出向いてご報告、ご説明し、議会活動に対するご批判やご意見、さらには町政に対するご提言などを直接お聞かせいただき、今後の議会活動や町づくり等に反映させるために、集落と共催で開催させていただくものです。

ご近所お誘いあわせの上、ご来場くださいますようお願いいたします。

なお、当日は **ご覧の「議会だより 185号」** をご持参ください。

## 平成 24 年「住民・議会懇談会」開催日程

開催期日	時間	会場	出席議員
4月25日 (水)	午後 7時30分～ 9時まで (延長30分)	駒返り公民館	伊林康男、根津勝幸、栗原洋子
		上段集落センター	吉野 徹、津端眞一、風巻光明
		大割野区民会館	草津 進、滝澤茂光、桑原 悠
		貝坂公民館	大平謙一、中山 弘、村山道明
		米原公民館	藤ノ木浩子、恩田 稔、石田タマエ
4月26日 (木)	午後 7時30分～ 9時まで (延長30分)	上野公民館	伊林康男、根津勝幸、栗原洋子
		寺石公民館	吉野 徹、津端眞一、風巻光明
		亀岡集落センター	草津 進、滝澤茂光、桑原 悠
		小池公民館	大平謙一、中山 弘、村山道明
		芦ヶ崎公民館	藤ノ木浩子、恩田 稔、石田タマエ
4月27日 (金)	午後 7時30分～ 9時まで (延長30分)	大赤沢民芸館	伊林康男、根津勝幸、栗原洋子
		見玉集落センター	吉野 徹、津端眞一、風巻光明
		秋成公民館	草津 進、滝澤茂光、桑原 悠
		大場公民館	大平謙一、中山 弘、村山道明
		船山新田公民館	藤ノ木浩子、恩田 稔、石田タマエ
5月 1日 (火)	午後 7時30分～ 9時まで (延長30分)	外丸ふれあいセンター	伊林康男、根津勝幸、栗原洋子
		巻下公民館	吉野 徹、津端眞一、風巻光明
		鹿渡新田集落センター	草津 進、滝澤茂光、桑原 悠
		中子集落センター	大平謙一、中山 弘、村山道明
		岡 公 民 館	藤ノ木浩子、恩田 稔、石田タマエ

# 委員会 レポート

平成24年1月からの委員会活動の概要を報告致します。

## ○総文福祉常任委員会○

委員長 草津 進

「津南町教育委員会との懇談会」

▼とき 1月18日

▼会場 文化センター

▼内容 1、町内小中学校教育の現状と課題、対応について

① 学校の適正規模について  
小学校の児童数は5年後には100人以上減少する見込み。  
複式学級も増えており、子供の教育を考えた場合、統合等地域の方と相談しながら進めたい。

② 子育て支援の一体化  
4月1日から教委学校教育班は役場庁舎内に移動し、子育て支援の一体化として福祉保健課と定期的に協議を行う。

2、生涯学習、文化財関係の現状と課題

① 中津川運動公園の造成は震災のため遅れたが、24年度中に完成させる。

② スポーツ少年団員等が少なくなってきた。

③ 遺跡調査と「なじよもん」の活用とジオパーク構想

## 「津南病院との懇談会」

委員長 大平謙一

▼とき 2月14日

▼会場 津南町役場 三階大会議室

▼内容 魚沼基幹病院、十日町病院との連携、地域医療機関としての津南病院の今後の在り方と方向について

① 魚沼基幹病院は浦佐で平成27年に開業予定。同時に十日町病院についても2月に予算発表され、25年度に着工し27年に完成予定だ。  
特に十日町病院については診療科の新設3科も含め17科として拡充される。また、地域医療連携センターも設置され益々津南病院との連携が充実される。

② 津南病院は医師看護師不足であるが、24年度の修学支援制度の改定により津南で勤務できる人の増を期待している。

## 津南病院の現状と課題

「寝たきり0を目指し認知症を予防し長寿をめざす」事を目標とし初期診療を基本とする運営方針である。病院設備の老朽化が進み、改修工事と医療機器の購入を24年度に予定している。

## ○産業建設常任委員会○

委員長 大平謙一

「津南町商工会との懇談会」

▼とき 1月20日

▼会場 津南町商工会館

▼内容 平成23年度商工会業務の執行状況の説明と24年度津南町からの補助金の要望について意見交換を行った。商工会からは、20、21年度に実施したプレミアム商品券発行事業を24年度に事業化したいと強い要望があり、後日町長に要請した。

「津南町農業委員会とJA津南町との懇談会」

▼とき 1月26日

▼会場 役場三階大会議場

▼内容

① 平成23年度津南町農協の各事業の実績見込みと24年度の事業計画について

② 農業者の高齢化と後継者不足問題、TPP反対への取組を話し合った。

③ 土地改良区において苗場山麓事業の償還金の滞納が増えていると、軽減への対策を町長に強く要請した。

## 「豪雪対策調査」

▼とき 2月10日

▼内容 産建委員全員で道路除雪状況と危険箇所等の調査を行った。国・県道、一般町道

については良好の状態であった。その他町道の除雪や、通学道路の安全性には問題があると町へ申し入れをした。

## 「建築協議会との懇談会」

▼とき 2月10日

▼会場 津南町商工会館

▼内容

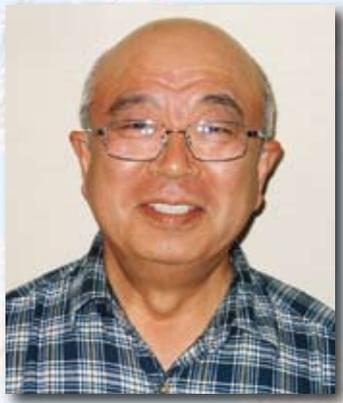
① 震災補助金の継続について  
震災での住宅改修はまだ続いており町が行う24年度住宅改修工事と、被災住宅改修補助事業との2本立てにしてほしいとの要望を町に要請した。

② 震災及び豪雪による農地災害復旧工事の進捗について  
③ 国道405号の拡幅について



豪雪対策調査での小島地内

# シリーズ・町民の声 私もひと言



## 「次代をになう若者へ」

大井平 藤木 <sup>たかし</sup> 敬さん

次代をになう若者が少なくなり、しかも職業難の時代に、たまたま学業の卒業期となって憧れていた職業につけなかった若者を見ると、いてもたってもいられない感情にとらわれることがあります。

厳しい時代に生きる若者に参考になればと書かせてもらいました。

皆様もはたから見ていて「よくもまあ、飽きもせずあんな仕事をやれるものだ」と思った事が少なからずあったのではないかと思います。

しかし仕事というものは、仕事として存在している限り、人が取り組んできたものです。そこには必ず、仕事としての必要性や、やりがい、または楽しみを見出している人が多くいるということです。そのコツを早く身につけることこそ人生の最大のテーマかもしれません。

例えば農業を行った時に楽しみや、やりがいを感じなかったとすると、それは未だ「発見」出来ていないだけなのです。人が長い間取り組んできた仕事には必ず「やりがい」や「楽しみ」があったから続いてきたのです。問題は発見の仕方です。「こんな仕事は面白くない」などと、こんな気持ちで取り組んでいたら、何時までも発見できません。そういう人は次の言葉を覚え実践すると良いと思います。

毎日一定の時間を決め、仕事に取り組みその繰り返しを行っていると「アッ、そうかこれだ!!」という発見があります。仕事の中に楽しみを発見出来た若者は人生最大の宝物を手に入れたと同じです。

やりがいを持って生きていけることを幸せと思って、一步一步進んでいただきたいと思います。



今年も大雪となりましたが、ようやく春の息吹が感じられる季節となりました。  
平成24年第一回定例議会では、豪雪に対する一般質問も多く、あらためて大変だったのではないかとお見舞い申し上げます。  
また、平成24年度の予算は賛成多数で可決されました。  
卒業・入学シーズンでありましたが、特に上郷中学校で最後の卒業式が行われ最後の3330番の卒業証書が授与され感無量でありました。  
(風)

編集後記

